



# 6月の富浦地区団体活動予定



開催日	時間	行事名	場所	備考
6月7日 & 28日 (日)	10:00~12:00	びわっこガーデン 遊び場開放 (子供向け) 予約不要	富浦中央 児童遊園	公園の遊具に加えて、協議会 所有の電動カーなど各種遊具 で楽しい時間を過ごしてくだ さい。予約不要ですのでお気 軽にお越しください。
6月10日 & 24日 (水)	13:30~15:00	ロコモ体操教室 (軽スポーツ) 予約不要	とみうら 元気倶楽 部	予約不要ですのでお気軽にご 参加ください。
毎週 金曜日	9:00~12:00	ペタンク (軽スポーツ)	南無谷 ペタンク 広場	目標に向けて金属製のボール を投げあって相手より目標球 に近づけ得点を競うスポー ツです。
毎週 土日祝	9:00~12:00	ステーションそら (おしゃべりによる 憩いの場)	富浦駅前 旧観光案 内所	気軽に集っておしゃべりやお 茶を楽しむ場です。お気軽に お立寄りください。
第3 木曜日	12:30~16:00	富浦俳句会 (俳句愛好会)	とみうら 元気倶楽 部	男女・年齢問わず俳句好き な方が集まり、俳句作りを楽 しんでいます。

上記活動に関するご質問・お問合せは、とみうら元気倶楽部まで  
Tel0470-33-3412 各団体の窓口にお繋ぎします。

## 5/17 ウクレレサークル演奏発表会 界限は多芸多才な人材の宝庫であることを実感



企画・編集：富浦地域づくり協議会「さざなみ」地域づくり支援員  
email [tomiura.sazanami@gmail.com](mailto:tomiura.sazanami@gmail.com)  
☎ 0470(33)3412

ご意見はこちら⇒



## 富浦お田植祭りレポート



5月10日日曜日。すっきりと快晴で迎えた富浦お田植祭り。今年も生稲奨太さんご夫妻と富浦子ども園に多大なるサポートをいただき100人を超える参加者を迎えて開催しました。子どもたちは多くが水着にビーサンという夏の装い。昨年参加のリピーターも多く、荷物はビニールへ入れるなど万全の対策をした方も。大人はもちろん子どもたちも真剣に田植えをしてくれました。今回は泥んこエリアの遊び道具としてソリ・シャベル・バケツ・ボールを持ち込んだことに加え、千葉工業大学のお兄さんたちが全力で遊んでくれたので、子どもたちも大喜びでした。秋に収穫したお米は参加者の皆さんにさざなみからプレゼントさせていただきます。





# お菓子屋 Graine

道の駅とみうら 枇杷倶楽部

グレーヌさん ご紹介

●日曜日は年長組のお嬢さんもお手伝いされているそうですよ



今回ご紹介するのは道の駅の駐車場の一角で可愛いお菓子のお店を営んでいらっしゃるGraineさんです。開業は令和5年5月。開店から満3年が経過しました。店主は山崎桃香さん。お名前がピーチ(桃)フレーバー(香)と既にパティシエ！桃香さんは調理師免許がとれる安房拓心高校を卒業後横浜の専門学校へ。卒業後に複数の業態でのお仕事を経験し、店舗をオープンしました。一番のウリは揚げていないドーナツ。ヘルシーにいただけます。週末にはアップルパイも製造販売しています。製菓で鍛えた技を使っての誕生日ケーキやデザインケーキなどもお手のもの。特別な記念日に向けてオーダーしてみたいはいかがでしょうか。記念日の前日までに予約すれば素敵なケーキが届くこと間違いなしです。お店にはお母さん手作りのジャムも並びます。丁度お話を伺っている最中にお母さまが納品に来たので、母娘でパチリ。取材中にお隣の魚屋さんから干物が届いたり枇杷倶楽部内でも皆さん仲良く営業されている様子でした。

Instagramには可愛い作品が一杯



## 富浦中学校で防災体験授業が実施されました

NTTドコモ、安房消防富浦分遣所、南房総市消防防災課という災害・防災のプロたちと、富浦地域づくり協議会さざなみによる富浦中学校向けの防災体験授業を実施しました。この日は終日防災体験の日。2時間目はドコモによる災害と通信に関する講演を聞き、3時間目からは学年毎に安房消防富浦分遣署によるAED体験、市消防防災課による防災資材組立て・利用体験、さざなみによる起震車・水消火器体験・防災クイズと様々なメニューを体験しました。生徒さんたちが今回の経験を自宅に持ち帰って家族の皆さんに伝道師として広めてくれることを願っています。



## ぼうさいとみうら

### どこに逃げる？どう逃げる？ — ”逃げ遅れない”ために

夜、強い雨。スマホから警報音。外を見ると道路には水が流れています。「まだ大丈夫かな…」「みんな避難してないし…」「避難所ってどこだっけ…」そう迷っているうちに、外へ出るほうが危険になることがあります。災害時に大切なのは、”完璧な避難”より「**早めの避難**」です。

#### ■ どこに逃げる？

- 指定避難所へ行く（学校・コミュニティセンターなど）
- 親戚・知人宅へ逃げる（安全な場所なら有効）
- 自宅の上階へ避難する（洪水時など外が危険な場合）



「避難＝避難所へ行く」だけではありません。大切なのは”**今いる場所より安全な場所へ移動すること**”です。

#### ■ どう逃げる？（高齢者向け実践）

避難は”**明るいうち・雨が弱いうち**”に。高齢者の避難では、夜道での転倒・側溝が見えない・強風で歩けない・車の渋滞などが多発します。「危なくなってから」では遅い場合があります。



#### 特に注意したいこと：

- 一人で無理をしない → 近所や家族へ早めに連絡
- 杖・補聴器・薬を忘れない（前号の持ち出し品を確認）
- 車避難は早めに → 浸水すると動けなくなる
- 動きやすい靴で → 長靴は水が入ると歩きにくい

#### ■ 「声をかけ合う」が地域の防災

特に独居高齢者の方は、避難情報に気づきにくい・夜間移動が難しい・「迷惑をかけたくない」と遠慮しがちです。だからこそ、「おばあちゃん、もう避難する？」「一緒に行きましょう」そんな**近所の一声が命を守ります**。



#### ■ 最後に

災害時、最も危険なのは「まだ大丈夫」と思ってしまうこと。避難は”**早すぎるくらい**”でちょうど良い。

普段から、どこへ逃げるか・誰に声をかけるか・どうやって移動するかをご家族や近所で話しておきましょう。

